

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	リハこどもデイ メイフラワー		
○保護者評価実施期間	令和 7 年 4 月 1 日		～ 令和 8 年 3 月 31 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和 7 年 4 月 1 日		～ 令和 8 年 3 月 31 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8 年 4 月 28 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	セラピスト(理学療法士)が複数名勤務しており、どの時間でも(人数、時間調整は必要)個別訓練を受けることが出来る。	セラピスト間で、利用児童へのアプローチの仕方を共有しながら、より良い療育を目指している。	セラピストの研修や勉強会などに積極的に参加してもらい、療育のスキルアップを目指す。
2	運動フロアが広く、ボルタリング室がある。病院でも使われている訓練用具(スイングなど)を設置している。	訓練用具を活用し、一つひとつの訓練に興味を持ち、意欲が高まるようなプログラム作成を心掛けている。	訓練風景や取り組み内容などをSNSなどで、知らせていく。
3	セラピストと保育士の連携のもと、手先を使った遊びや製作(ハサミの持ち方、鉛筆の持ち方など)が充実。就学に向けての取り組み。季節の製作や集いが充実。	個々のレベルやベースに合わせて楽しく取り組めるように、職員間で話し合いを重ねている。季節を感じたり、経験を重ねる。	年間を通して、季節を感じながら、就学に向けての個々に合わせた必要課題を、しっかり提供していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	1階から2階へが外階段で、標準の段差の為、未就学児には、少し昇降が難しい。	賃貸物件の為、リフォームが難しい。	必ず職員が見守り安全を確保した上で、逆に訓練に利用している。
2	親子活動や保護者交流が少ない。	就労されている保護者が多いのと、職員の勤務条件との兼ね合いで、頻繁な実施が難しい。	出来る範囲で、交流できるイベントを検討していく。
3	避難訓練が不定期で、定着出来ていない。	不定期利用と、利用時間は個別訓練が主となる為、不定期になってしまう。	集団訓練などの時に、数人ずつで訓練ごっこなどから、避難訓練に慣れていく。